

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## ＜資産証券化商品＞

信託受益権 202007(契約番号 210252)  
信託受益権 202107(契約番号 210272)  
信託受益権 202111(契約番号 210281)  
信託受益権 202201(契約番号 210290)  
信託受益権 202208(契約番号 210299)

### 信託受益権 202007(契約番号 210252)

【クレジット・モニター指定】  
信託受益権格付 A → #A/ポジティブ

### 信託受益権 202107(契約番号 210272)

【クレジット・モニター指定】  
信託受益権格付 A → #A/ポジティブ

### 信託受益権 202111(契約番号 210281)

【クレジット・モニター指定】  
信託受益権格付 A- → #A-/ポジティブ

### 信託受益権 202201(契約番号 210290)

【クレジット・モニター指定】  
信託受益権格付 A- → #A-/ポジティブ

### 信託受益権 202208(契約番号 210299)

【クレジット・モニター指定】  
信託受益権格付 A- → #A-/ポジティブ

## ■格付事由

### 1. スキームの概要

- オリジネーター兼サービサー（オリジネーター）は、多数の個人または法人に対して有するリフォーム・ソーラーローン債権（対象債権）を三菱UFJ信託銀行株式会社（受託者）に信託し、受託者はオリジネーターを当初受益者としてA号優先受益権、B号優先受益権（あわせて優先受益権と総称）、メザニンI-1受益権、メザニンI-2受益権、メザニンII受益権および劣後受益権を交付する。オリジネーターは優先受益権を投資家に譲渡し、劣後受益権は引き続き保有する。
- 対象債権の信託設定に際し、オリジネーターは動産及び債権の譲渡の対抗要件に関する民法の特例等に関する法律（動産・債権譲渡特例法）第4条第1項に定める登記により第三者対抗要件を具備する。
- オリジネーターは信託事務委任契約に基づき、サービサーとして対象債権の回収を代行し、その回収金を毎月受託者に引き渡すほか、一定の金額を上限に貸倒債権の買戻しを行う。回収期間中、これらの回収金及び買戻し代金により各受益権の元本の償還と配当の支払いが行われる。
- 本件では信用補完・流動性補完措置として、優先劣後構造、現金準備金の設定が採用されている。なお、バックアップサービサーの設置は当初留保されている。

## 2. 格付評価のポイント

メザニンII受益権の信託期間満了日までの満額の元本償還・期日通りの配当支払の可能性は、メザニンI-2受益権の格付を上限として、基本的にオリジネーターの信用力に収斂・連動するものと考えられる。JCRは今般、オリジネーターの見直しを行い、メザニンII受益権の格付をクレジット・モニターの対象とし、見直し方向をポジティブとした。

## 3. 損失、キャッシュフロー分析および感応度分析

オリジネーターの格付が変更された場合には、メザニンI-2受益権の格付を上限として、メザニンII受益権の格付も連動して変更されうる。

(担当) 荘司 秀行・齊木 利保

### ■ 格付対象

<信託受益権 202007 (契約番号 210252) >

#### 【クレジット・モニター指定】

対象	当初発行額	当初劣後比率	信託期間満了日	クーポン・タイプ	格付
メザニンII受益権	1,320,000,000円	5.0%	2041年7月31日	固定	#A/ポジティブ

<信託受益権 202107 (契約番号 210272) >

#### 【クレジット・モニター指定】

対象	当初発行額	当初劣後比率	信託期間満了日	クーポン・タイプ	格付
メザニンII受益権	1,296,000,000円	5.0%	2042年7月31日	固定	#A/ポジティブ

<信託受益権 202111 (契約番号 210281) >

#### 【クレジット・モニター指定】

対象	当初発行額	当初劣後比率	信託期間満了日	クーポン・タイプ	格付
メザニンII受益権	982,000,000円	5.0%	2042年11月28日	固定	#A-/ポジティブ

<信託受益権 202201 (契約番号 210290) >

#### 【クレジット・モニター指定】

対象	当初発行額	当初劣後比率	信託期間満了日	クーポン・タイプ	格付
メザニンII受益権	1,782,000,000円	5.0%	2043年1月30日	固定	#A-/ポジティブ

<信託受益権 202208 (契約番号 210299) >

#### 【クレジット・モニター指定】

対象	発行額	当初劣後比率	信託期間満了日	クーポン・タイプ	格付
メザニンII受益権	1,848,000,000円	7.4%	2043年8月31日	固定	#A-/ポジティブ

### <発行の概要に関する情報>

信託開始日	信託受益権 202007 (契約番号 210252) : 2020年7月29日 信託受益権 202107 (契約番号 210272) : 2021年7月28日 信託受益権 202111 (契約番号 210281) : 2021年11月26日 信託受益権 202201 (契約番号 210290) : 2022年1月27日 信託受益権 202208 (契約番号 210299) : 2022年8月29日
受益権譲渡日	信託受益権 202007 (契約番号 210252) : 2020年7月31日 信託受益権 202107 (契約番号 210272) : 2021年7月30日 信託受益権 202111 (契約番号 210281) : 2021年11月30日 信託受益権 202201 (契約番号 210290) : 2022年1月31日 信託受益権 202208 (契約番号 210299) : 2022年8月31日
償還方法	月次パススルー償還、シークエンシャルペイ ※クリーンアップ・コール条項有り

流動性・信用補完措置	メザニンⅡ受益権：オリジネーターのパーソナルサポートおよび現金準備金
------------	------------------------------------

### <ストラクチャー、関係者に関する情報>

オリジネーター	イオンプロダクトファイナンス株式会社
アレンジャー	三菱UFJ信託銀行株式会社
受託者	三菱UFJ信託銀行株式会社

### <裏付資産に関する情報>

裏付資産の概要	オリジネーターが保有するリフォーム・ソーラーローン債権
---------	-----------------------------

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年1月23日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典  
主任格付アナリスト：荘司 秀行
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準については、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法（格付方法）の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「割賦債権・カードショッピングクレジット債権」（2014年6月2日）の信用格付の方法として掲載している。回収金口座や倒産隔離など他の付随的な論点についても上記のページで格付方法を開示している。
- 格付関係者：  
(オリジネーター等) イオンプロダクトファイナンス株式会社  
(アレンジャー) 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。JCRは、格付付与にあたって必要と判断する情報の提供を発行者、オリジネーターまたはアレンジャーから受けているが、その全ては開示されていない。本件信用格付は、資産証券化商品の信用リスクに関する意見であって、価格変動リスク、流動性リスクその他のリスクについて述べるものではない。また、提供を受けたデータの信頼性について、JCRが保証するものではない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
① 格付対象商品および裏付資産に関する、オリジネーターおよびアレンジャーから入手した証券化対象債権プールの明細データ、ヒストリカルデータ、パフォーマンスデータ、証券化関連契約書類  
② 裏付資産に関する、中立的な機関から公表された中立性・信頼性の認められる公開情報  
③ オリジネーターに関する、当該者が対外公表を行っている情報  
④ その他、オリジネーターに関し、当該者から書面ないし面談にて入手した情報  
なお、JCRは格付申込者等から格付のために提供を受ける情報の正確性に関する表明保証を受けている。
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、いずれかの格付関係者による表明保証もしくは対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 資産証券化商品についての損失、キャッシュフローおよび感応度の分析：  
格付事由参照。
- 資産証券化商品の記号について：  
本件信用格付の対象となる事項は資産証券化商品の信用状態に関する評価である。本件信用格付は裏付けとなる資産のキャッシュフローに着目した枠組みで付与された格付であって、(a) 規定の配当が期日通りに支払われること、(b) 元本が信託期間満了日までに全額償還されることの確実性に対するものであり、ゴーイングコンサーンとしての債務者の信用力を示す発行体格付とは異なる観点から付与されている。
- 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であることを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

**予備格付：**予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル